

## 한통련 뉴스레터

제67호

発行:在日韓国民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284  
メール [chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org) ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

## 정세 情勢

## ●国連演説…尹大統領「北とロシアの武器取り引き、座視しない」…朝鮮とロシア、尹政権を批判

## 尹大統領「武器取り引きを座視しない」



国連総会で演説する尹錫悦大統領

尹錫悦 (ユン・ソンニョル) 大統領は9月20日(日本時間21日未明)、米ニューヨークで国連総会の一般討論演説に臨んだ。

尹大統領は「北がロシアに通常兵器を支援する見返りに、大量破壊兵器の能力強化に必要な情報と技術を得るなら、ロシアと北の軍事取引はウクライナだけでなく、韓国の安全保障と平和を直接狙った挑発になるだろう」と述べ、「韓国と同盟国、友好国はこれを座視しない」と強調した。

尹大統領は国際社会が強く連帯し原則に基づき一貫した行動を取るなら、違法な挑発を阻止できると訴え、「韓国は世界平和の促進と構築へ責任ある役割を果たしていく」と表明した。

北朝鮮(※正しくは朝鮮、以下同じ)の核・ミサイル開発については「韓国の平和への直接かつ実存的な脅威にとどまらず、

インド・太平洋地域と全世界の平和に対する重大な挑戦」と指摘。さらに「国連安全保障理事会の常任理事国が他の主権国を武力侵攻して戦争を起こし、国連安保理決議に違反する政権から武器と軍需品の支援を受ける現実自己矛盾」と批判した。こうした状況から安保理改革の必要性が幅広く支持されているとも述べた。

尹大統領は2030年国際博覧会(万博)の韓国・釜山誘致に対する支持も訴えた。大統領室によると、尹大統領はこのために国連滞在中に41カ国の首脳と会談したという。

## ロシア側、尹演説に遺憾表明

朝鮮とロシアの武器取引について警告した尹大統領の国連演説に対し、駐韓ロシア大使館は21日、フェイスブックを通じて「米国政府が始め、米国と韓国のメディアが追いかけたロ朝協力をおとしめる宣伝戦に(尹大統領が)加勢したことに深い遺憾」を表明した。

## 朝鮮、尹演説を批判

朝鮮中央通信は25日、金正恩(キム・ジョンウン)国務委員長(朝鮮労働党総書記)が今月に訪ロするなどロシアとの関係を強化していることに関し、「隣国同士が親しくするのはごく自然で、問題になる理由は一つもない」と主張した。その上で、尹大統領の国連演説に対し「われわれとロシアの関係を悪辣(あくらつ)にけなし

た」「初歩的な政治知識も国際関係の常識もまったくない」と批判した。

## 金星大使、自衛力強化を明言し安保理の不公平性を指摘

朝鮮の金星（キム・ソン）国連大使は26日（現地時間）、国連総会で一般討論演説を行い、「朝鮮半島はいつ核戦争が起きるか分からない一触即発の危機に瀕（ひん）した」として、自衛力を強化する方針を表明した。金氏は「敵対勢力の無謀な軍事的冒険と挑戦が増えるにつれて、国家防衛力強化のためのわれわれの努力も正比例するだろう」とし、「国の自主権と安全を守ろうとする共和国の決心は絶対不変だ」と強調した。

尹大統領の国連演説に関連し「自主的な主権国家間の平等で互恵的な関係発展は、米国の植民地に過ぎない大韓民国が干渉する問題にはなり得ない」と指摘。

国連安保理は朝鮮に対しては「主権国家の正当な権利」である衛星発射を指摘し、人権問題を問題視するが、韓米合同軍事演習と米国の戦略資産展開については「ただの一度も憂慮を表明していない」とし、日本の放射能汚染水海洋放出も沈黙していると、その不公平性を批判した。

## 朝口首脳会談がつくる新しい国際秩序…米国と韓国は国際的孤立の道へ

韓米日三カ国、そしていわゆる西側諸国は、朝鮮とロシアの軍事協力、さらにはウクライナ事態へ朝鮮からの軍事協力があるのではと、朝口首脳会談の内容に神経をとがらせた。しかし、そのことを一方的に憂慮する前に、韓米日三カ国の軍事協力、米国を含むNATOのウクライナに対する軍事支援についてはどうなのかと反問したい。

朝口首脳会談は軍事を含む多方面にわたる関係強化に合意したのは事実だが、重要なのは朝口が反帝国主義共同戦線、具体的にいえば、反米（+追従国）共同戦線の構築とその強化を確認したという点にある。国連安保理国であるロシアと朝鮮の関係がこれまで以上に強化されれば、すでに表れている現象ではあるが、朝鮮に対する国連による不当な決議や制裁はその効力を失っていく。

朝鮮にとっては、決議や制裁に縛られず、自主的で互恵平等な国連加盟国との国際関係を築いていける新しい国際秩序がつくりだされることを意味する。米国政府の国連を舞台とする対朝鮮包囲圧迫政策は破綻したといえる。こうした変化は韓国にも当然押し寄せるが、尹政権は米国に追従して朝鮮との対決姿勢を強め、中口との関係を不必要に悪化させている。このままならば、米国と共に国際社会で孤立の道へと進むことにならざるを得ないだろう。

## ●地裁、李在明代表への逮捕状請求を棄却…李代表「無能な政権に抗し民生を救う」



ソウル拘置所前で記者会見する李在明代表

### 地裁、逮捕状請求棄却

ソウル中央地裁は9月27日未明、第一野党「共に民主党」（民主党）の李在明（イ・ジェミョン）代表に対する逮捕状請求を棄却した。

地裁は26日、李氏を呼び出して逮捕状発付の是非を判断する令状審査を行った。9時間を超える審問と7時間の内部審議の末、担当判事は27日「被疑者の防御権保障の必要性の度合いや証拠隠滅（いんめつ）の憂慮の度合いなどを総合すると、不拘束捜査の原則を排除するほどの逮捕の理由と必要性があるとは見なし難い」との判

断を示した。

検察は李氏について、同氏が城南市長だった時期の都市開発事業で民間事業者に便宜を図り、城南都市開発公社に200億ウォン（約22億円）以上の損害を与えた容疑や、京畿道知事時代に下着メーカー大手・サンバンウルグループを通じ、巨額資金を北朝鮮（※正しくは朝鮮）側に不正に渡した疑惑に絡む容疑で逮捕状を請求していた。

地裁は都市開発事業での偽証教唆（きょうしゅん）容疑を除き、いずれの事件も容疑に争いの余地があると判断した。証拠隠滅の恐れがあると検察の主張も認めなかった。

現職の国会議員である李氏は、会期中に国会の同意なしに逮捕・拘束されない不逮捕特権を持つ。検察は今年2月にも別の疑惑を巡り李氏の逮捕状を請求したが、この時は国会で逮捕同意案が否決され、逮捕状請求は自動的に棄却された。それから約7カ月後の今月18日、検察は2回目の逮捕状請求に踏み切った。21日に国会で逮捕同意案が可決され、26日に地裁で令状審査が実施された。第一野党の代表が裁判所の令状審査を受けるのはこれが初めて。

李氏は全面的な国政刷新や内閣総辞職を求めて8月31日からハンガーストライキを実施していたが、体調が悪化して24日目で断念。入院先で身体の回復に努めていた。

## 地検「棄却は遺憾」

ソウル中央地検の関係者は27日、「党代表であるため証拠隠滅（の恐れ）がないとしたのは司法に政治的な考慮があったのではないかという懸念がある」と批判し、「裁判所の決定は検察と相当な見解の差があり受け入れ難く、深い遺憾の意を表す」と述べた。

また「事案の深刻さを考慮しても当然逮捕状が発付されるべきだとみている」と強調。「拘束捜査は法が定める一つの方法であり、まだ捜査が終了したわけではないため、容疑を立証するため最善の努力を尽くす」と述べた。

## 李代表「民生を救う」

李代表は27日、逮捕状棄却の決定を受け「人権の最後のとりでという事実を明確に証明してくれた司法府に深く感謝申し上げる」「政治とは常に国民の暮らしを助け、国の未来を開拓していくことだという事実を与野党、政府が共に忘れず、これからは相手を殺す戦争ではなく、国民と国のために誰がより多くの役割を果たせるかを競う真の意味の政治に戻ることを願う」と述べた。

李代表は秋夕（※陰暦8月15日の称。先祖への祭祀、墓参を行う）連休初日の28日に、「無能な政権に抗し民生を救う」と国民向けにアピールすると共に、ソウル江西区長補欠選挙（10月11日投開票）について、「政権審判の選挙である国会議員総選挙の前哨戦となるもので、総力体制で必ず勝利しなければならない」と強調した。29日にはフェイスブックを通じて、尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領に民生のための首脳会談を提案。提案に対し与党「国民の力」は「与野党党首会談が先だ」と反発した。

## 検察独裁を糾弾する！ 反尹政権戦線を構築しよう！

尹政権は出帆以後、大統領選挙の対立候補であり第一野党党首の李在明氏に対して、検察を使った全方位的な捜査を執拗（しつよう）に続けてきた。政敵に向けた政治報復であり露骨な標的捜査といわざるを得ない。今回、検察は李氏がハンガーストライキ中であるにもかかわらず捜査を強行し、政権・与党側は李氏のハンガーストライキを捜査回避のためのパフォーマンスであるかのように悪宣伝までした。

逮捕状棄却は検察に一定の打撃を与えたが、検察には反省する様子はまったくない。検察政治をほしいままにする検察独裁を厳しく糾弾し、尹政権と徹底して闘う姿勢を堅持しなければならない。民主党はまずは党内団結を固め、野党との連帯を強化し、院外の民主勢力と進歩民衆勢力との連携を図ることだ。進歩民衆勢力はすでに「尹政権退陣」を掲げ11・11民衆総決起の開催を明らかにしている。反尹政権戦線を構築し検察独裁・尹政権に対する大々的な反撃に乗り出さなければならない。

## ●【資料紹介】民主労総第77回臨時代議員大会開催…政治・総選挙方針を樹立



臨時代議員大会でスローガンを叫ぶ民主労総メンバー

民主労総は9月14日、京畿道高陽市内で第77回臨時代議員大会を開催し労働者政治勢力化のための政治方針と総選挙方針を確定した。民主労総ホームページから報道資料（9月14日）を紹介する。

民主労総は9月14日、京畿道高陽市内で在籍代議員1848人中957人の代議員が参加する中、第77回臨時代議員大会を開催し労働者政治勢力化のための政治方針と総選挙方針を確定した。

4月24日の第76回臨時代議員大会以後、民主労総は全国巡回討論会などを通じて提出された方針を集中論議、今回代議員大会に提出する政治方針(案)を確定し、争点と異見が存在した総選挙方針(案)を中央執行委員会の単一案として提出するために、二度にわたる徹夜の中央執行委員会などを経て、本日単一案の提出に至った。

大会辞を通じてヤン・ギョンス委員長は「尹錫悦(ユン・ソンニョル)政権は梨泰院惨事、日本の放射能汚染水放出、五松惨事、洪範図(ホン・ボムド)将軍に対する死後処刑惨事、労働権への攻撃・はく奪、富裕層には減税を施し庶民には公共料金暴騰を投げつける権力」だと批判、「民主労総の政治勢力化についてこれまでの反省的評価を基盤に、直接政治を具現する新しい政治勢力化を図ろう」「2024年総選挙を準備し進歩政治の団結を成し遂げ、うんざりする既得権両党政治に終止符を打とう」と訴えた。

提案案に対し質疑と多様な意見表明、賛

否討論を行った代議員は933人の在席人員を確認し、表決を通じ政治方針と総選挙方針を樹立した。

政治方針、総選挙方針を樹立した民主労総は「2024年総選挙で尹錫悦政権退陣と不平等体制転換闘争を強化し保守両党体制を打破し、進歩政治勢力が強力な代案政治勢力へ跳躍することを目標に闘争すること」「当面して労組法2・3条改正闘争と鉄道など社会公共性を守る闘争に力を集中すること」を特別決議文を通じて明らかにした。

### 民主労総 政治方針

1. 民主労総は社会を変える労働運動の戦略を樹立、実行し社会的影響力を高めていくことと同時に、直接政治を通じて労働者政治勢力化を推進する。
2. 民主労総は進歩政党を含め進歩政治勢力の結集された力をつくり、労働者執権と社会変革を目標に労働者政治勢力化を推進する。
3. 民主労総は現場と地域の力を集めて韓国の社会体制転換と進歩改革のための大衆闘争と政治改革闘争を伴う労働者政治勢力化を推進する。
4. 民主労総は農民、貧民など進歩民衆勢力および進歩政党と相互尊重し団結、連帯し、労働中心性が確保できるよう労働者政治勢力化を推進する。
5. 民主労総は多様な進歩的価値と志向を尊重し進歩政治勢力の連帯連合水準と団結を高め、これを土台に労働中心の進歩政党建設を推進する。

### 民主労総の団結と進歩政治勢力の連帯連合実現のための総選挙方針

1. 民主労総は2024年総選挙で労働者直接政治具現のために下から組織的決意と力量を集め、進歩政治勢力の連帯連合を実現する。これを土台に尹錫悦政権退陣と不平等体制転換闘争を拡大・強化し、進歩政治勢力が強力な代案政治勢力へ跳躍することを目標にする。

2. 民主労総は組織内外の多様な進歩的価値と志向を尊重し、進歩政治勢力の連帯連合実現と団結の水準を高めるために、民主労総が支持する進歩政党と信頼と合意により連合政党建設から政策連帯、候補一本化、共同選挙運動まですべての可能性を開き総選挙共同対応を積極推進する。

3. 民主労総は現場と地域で親資本保守両党体制打破のための政治制度改革闘争と直接政治、体制転換運動大衆化のための政治事業を全面化し、総選挙で勝利するために進歩政党と「韓国社会大転換民主労総・進歩政党総選挙共同対応機構」を構成する。

4. 民主労総は親資本保守両党支持のための組織的決定はもちろん、前・現職幹部の地位を利用し親資本保守両党を支持する行為を禁止する。

5. 民主労総は総選挙評価に基づき労働者政治勢力化と政治方針(案)履行のために進歩政治勢力と共同論議機構を構成する。共同論議機構は信頼と合意により運営し、2026年地方選挙までに連合政党建設を目標にする。

原文

<https://nodong.org/statement/7837042>

### ●【記事紹介】全国で「尹錫悦退陣」同時多発集会…11月民衆総決起で暴走を止めよう！



第3次汎国民大会で退陣闘争を決意する参加者たち

「尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権退陣運動本部」は9月16日、ソウルを含む全国で「尹錫悦政権退陣第3次汎国民大会」を開催。ソウルでは同時に開かれた「日本の放射能汚染水海洋投棄中止！ 第4次汎国民大会」とも連携しながら、参加者は「11月民衆総決起」で尹政権の暴走を必ず止めようと決意した。「民衆の声」（9月16日）の記事を抜粋・要約し紹介する。

ソウルでは龍山大統領室近くの大通りで労働者と市民1万人余りが集まる中、「尹錫悦政権退陣第3次汎国民大会」が開催された。

参加者は「このようにしては暮らすことができない。変えようこの場に集まった」と主張、11月民衆総決起で政権に対抗する総力闘争を繰り広げると決意した。

全国民主労働組合総連盟（民主労総）ヤン・ギョンス委員長は大会辞で「ソウルだけでなく全国各地で尹錫悦政権退陣の旗を高く掲げている」とこの日の全国集会状況を伝えた。

ヤン委員長は「貨物労働者と建設労働者を弾圧した国土交通部と尹錫悦政権が、今度は鉄道の公共性を破壊し公共機関を理念化しようとしている」「尹錫悦政権に抗し共に闘争しなければ、政権側が望むとおり、われわれは長時間労働にさらされ賃金体系は改悪されてしまう」と語った。

また「この政府は本当にひどい」「全斗煥（チョン・ドファン）の12・12クーデターを擁護する者をどうして国防部長官にし、女性家族部の解体を口にする者を長官にするというのか。ブラックリストをつくった者を再び長官にするということは、依然として文化芸術界を掌握しようということなのか。親友を最高裁判所長官に座らせて司法権力まで掌握しようとしている」と尹政権の人事を批判した。

そして「朴槿恵（パク・クネ）政権を引き下ろした民衆の抗争をもう一度組織しよう。ここにいるわれわれが先頭に立ってこそ民衆がともに立ち上がる」「11月民衆総決起で尹錫悦政権に『お前らの暴走は止まった』『お前らが生きる場はない』と堂々と宣言しよう」と声を高めた。午後4時30分ごろからは光化門近くで「日本の

放射能汚染水海洋投棄中止！ 第4次汎国民大会」が行われ、「尹政権退陣」集会参加者も合流した。

参加者は「日本政府は3週間ほど設備を点検した後、秋夕に際して汚染水第2次海洋放出に乗り出す。今後30年以上、汚染水海洋投機が行われれば海の汚染はもっと深刻になる」「日本政府はいますぐにでも放射能汚染水海洋投棄を中止しなければな

らない」と強調した。

また尹錫悦政権に向けて、日本政府に汚染水放出反対の立場を明確にし、国際海洋法裁判所に日本政府を提訴するなど積極的な姿勢を示さなければならないと要求した。

原文

<https://vop.co.kr/A00001639704.html>

## ●【声明紹介】国家保安法は合憲、対北ビラ禁止法は違憲！ 尹錫悦政権の意向に合わせた憲法裁判所の憲法毀損判決を糾弾する！

憲法裁判所が国家保安法の一部条項に対し合憲判決を下す一方、南北関係発展法の対北ビラ散布処罰条項に対しては違憲判決を下したことに関連し、全国民衆行動は9月27日、憲法裁判所の判決を糾弾する声明を発表した。全国民衆行動のホームページから紹介する。

2023年9月26日、憲法裁判所は国家保安法2条と7条に対し合憲決定を下した。対北ビラ散布関連処罰を規定した南北関係発展法24、25条の該当条項に対しては違憲判決を下した。

憲法裁判所は北による大韓民国の体制存立の脅威が持続しており、「反国家団体規定」「利敵表現物所持、製作、頒布」などの処罰規定は維持されなければならないとする一方、対北ビラ散布禁止は表現の自由を侵害するということを判決の理由にあげた。

国家保安法は北を反国家団体と規定し、憲法上の人間の尊厳、思想と表現の自由などを侵害し、国民の統制手段として利用されてきた。今回の憲法裁判所の判決は、国家保安法を廃止すべきだという時代的要求を無視したまま、世にまれな悪法を維持させる名分を提供した。憲法裁判所の時計はいまだに過去の独裁政権時代にとどまっている。いや、尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権の歴史回帰に歩調をあわせて、憲法裁判所もまた民主主義の時計を逆に回している。

対北ビラ禁止法（南北関係発展法の対北ビラ散布処罰条項）に対する違憲決定もまた尹錫悦政権の意図に合わせられた。違憲を判断する憲法裁判所の物差しは、国の安寧と平和を察するのではなく尹錫悦政権に焦点が合わせられているのである。

対北ビラ禁止法がなぜつくられたのかを思い浮かべてみよう。対北ビラ散布は北に接する地域住民の生存権を脅かし、南北関係を毀損（きそん）し、さらには戦争まで呼び込む行為だ。これを防止するために対北ビラ散布行為を処罰できるよう法が改正されたが、尹錫悦政権になってから政府の庇護（ひご）の下で処罰は成り立たなくなった。尹錫悦政権の意向に合わせた憲法裁判所の今回の判決により、対北ビラ散布がさらに勢いを増し、朝鮮半島における戦争の危機がさらに高まるのは火を見るよりも明らかである。

今回の憲法裁判所の判決は尹錫悦政権の民主破壊、対北敵視政策に合わせた偏向的判決であり、今後、政権次元の公安弾圧、対北ビラ散布などによる戦争挑発行為にさらに勢いをつけるものだ。

しかし国民はこれを決して座視しないだろう。

尹錫悦政権はこれまで対北敵視基調で南北対決を加速化しており、「終戦、平和、対北制裁緩和、国連軍司令部解体」などの主張を「反国家行為」として攻撃している。憲法裁判所の判決があったその日、尹錫悦大統領は「国軍の日」記念式で、「北が核を使う場合、韓米同盟の圧倒的対応を通じて北の政権を終息させる」という刺激的な表現で戦争の危機を高めた。

また、戦車、装甲車、各種ミサイルと軍事装備を動員し、韓国軍だけでなく在韓米軍まで史上初めて参加した「国軍の日」市街行進を10年ぶりにソウル都心で展開した。軍事力を誇示し「力による平和」を強要する、このような行為は朝鮮半島における戦争の危機を早めるだけである。

主権国家の大統領なら、戦争ではなく国民の生命と安全を追求しなければならない。誰のための戦争であり「力による平和」なのか。尹錫悦政権は反北対決政策に埋没するのではなく、真に国民のための平和が何なのかをもう一度考えてみる。

反共理念で武装し国民を弾圧し権力を維持した独裁政権を倒したのは、まさに民主主義に向かった国民の力であった。

全国民衆行動は、国家保安法という古い思想に縛られ南北対決と戦争を助長する尹錫悦政権に対し、国民と共に立ち向かい、さらに苛烈に闘うものである。

2023年9月27日

全国民衆行動

原文 <http://www.xn--lg3b82v.com/notice/?idx=16462062&bmode=view>

## 활동보고 活動報告

### ● 大阪、愛知で日朝平壤宣言21周年行事を開催・・・日朝平壤宣言の履行を要求



講演する李柄輝副センター長

「日朝市民連帯・大阪」は9月15日、「日朝ピョンヤン宣言から21年 日朝国交正常化の早期実現を求める大阪集会」を国労会館（大阪市北区）で開催した。

日朝市民連帯・大阪の大野進共同代表が主催者あいさつ。李柄輝（リ・ビョンフィ）朝鮮大学校朝鮮問題研究センター副センター長が「新冷戦の中の朝鮮半島情勢と日朝関係」をテーマに講演した。李副セ

ンター長は講演を通じ「韓米日を軸とする東アジア版NATOの形成と先制攻撃論に基づく軍拡が進んでいる」と指摘しながら、「このような情勢をふまえ朝鮮は『強対強、正面勝負』の原則を堅持するとともに、中国・ロシアとともに反米共同戦線を強化している」と述べた。今後の日朝関係については、2008年にイタリアとリビア間で結ばれた「ベンガジ条約」を例に出しながら、「日本政府は日朝ピョンヤン宣言の精神に立ち返り、履行しなければならない」と述べ、「私たちも粘り強く運動を進めていこう」と訴えた。質疑応答後、岸田首相宛の要請文を朗読・採択し、長崎由美子共同代表が閉会あいさつした。

また、愛知では「『韓国併合』100年 東海行動実行委員会」が9月17日、名古屋市教育会館で日朝平壤宣言21周年講演会「日朝国交正常化、今やるべきことは？」を開催。韓国問題研究所の康宗憲（カン・ジョンホン）代表が講演した。

## ● 大阪で第28回統一マダンを開催…6.15市民合唱団が統一の歌を熱唱



6. 15 合唱団の公演

「第28回統一マダン生野」が9月17日、大阪市生野区・いくのパークで開催され、多くの在日同胞、日本人などが参加した。主催は韓統連大阪本部を中心とする実行委員会。

統一マダン生野の舞台では、プロパフォーマーちゃんへん氏によるジャグリングをはじめ朝鮮舞踊、朝鮮学校の子どもたちによる民族楽器演奏、安聖民（アン・ソンミン）氏のパンソリ、韓国から招請した6.15市民合唱団の合唱など多彩な演目が披露され、統一マダン生野を盛り上げた。

金昌範（キム・チャンボム）実行委員長

（大阪本部副代表委員）は主催者あいさつを通じ「停戦協定締結から70年を迎える今年、未だに平和協定が締結されていません。統一マダン生野に集まった私たち、平和を愛する市民が手をつなぎ、世界に平和の花を咲かせましょう。今日一日、共に楽しみましょう」と語った。また社民党の大椿ゆうこ参議院議員、筋原章博生野区長が来賓あいさつした。

韓国からは6.15市民合唱団の他に、モンダンヨンピル（朝鮮学校を支援する韓国の団体）の会員たちが参加し、マダン実行委員や在日韓国良心囚同友会のメンバーと交流した。初めて参加する統一マダン生野について「とても感動的なマダンだった」と感想を述べた。

会場ではビールに焼鳥、かき氷、カレーライス、焼きそば、キムパッなどの多くの屋台が並び、早々に売り切れる屋台も出るなど盛況。フィナーレでは参加者が共に手をつなぎ「ウリエソウォン（わたしたちの願い）」を合唱。参加者からは「6・15合唱団の歌にとっても感動した。また来年も参加したい」など、感想が寄せられた。

第28回統一マダン生野の記事が韓国のインターネットメディア「統一ニュース」と「自主時報」に掲載されました。

統一ニュース <http://www.tonginews.com/news/articleView.html?idxno=208988>

自主時報 <http://www.jajusibo.com/63413>

## ● 〈一分断にともに立ち向かう人々-在日同胞と国内同胞との出会いの広場・2023〉開催



歓迎晩さん会での集合写真

昨年10月に開催された、在日同胞招請事業「分断に立ち向かう人々-在日同胞との同行」の成果を継承・発展させるため、9月16日から18日まで「一分断にともに立ち向かう人々-在日同胞と国内同胞と

の出会いの広場・2023」が開催された。主催は韓統連大阪本部と在日韓国良心囚同友会。韓国からはモンダンヨンピルの金明俊（キム・ミョンジュン）事務総長ら5人が参加した。

9月16日には大阪コリアタウンのフィールドワークを開催。その後、歓迎晩さん会が行われた。同友会からは李哲（イ・チョル）代表と康宗憲（カン・ジョンホン）氏、尹英数（ユン・ヨンス）氏が、韓統連大阪本部からは李鐵（イ・チョル）顧問と金昌五副代表委員、韓青から韓成佑（ハン・ソンウ）中央委員長が参加し、再会を喜び合った。

9月17日は、「第28回統一マダン生



野」に参加。朝鮮の統一を願う在日同胞と日本人による手作りの熱気あふれるイベントに初めて参加したモンダンヨンプルのメンバーは、在日同胞各界からの演目と6.15市民合唱団のステージを満喫した。

9月18日には京都の「ウトロ平和記念

館」を参観後、豊臣秀吉の朝鮮侵略を象徴する「耳塚」を参拝。耳塚横に設置された「交流館 カササギの家」で、三千里鐵道の都相太（ト・サンテ）理事長から歓待を受け、昼食をともにしながら懇談会を行った。

### プラカード・アピールにご協力ください



尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権退陣、11.11民衆総決起支持を訴えるメッセージ写真を募集しています。プラカードを掲げて写真を撮影し、下記アドレスまでご送信ください。写真は韓国の「尹錫悦政権退陣運動本部」に送ります。プラカードのデータはホームページからダウンロードしてください。



また、上記内容の宣伝ビラをホームページに掲載しています。合わせてご活用ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

プラカード・アピール写真送付先

[chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org)

## 행사예정 行事予定

### 10月

#### 第9回尹錫悦政権糾弾集会(東京)

日時：10月7日（土）午後5時30分 場所：新宿駅西口地下イベント広場 主催：東京民主実践連帯 連絡先：090-4298-6113（イ）

#### 情勢学習会(神奈川)

日時：10月15日（日）午後1時開場、1時15分開始 場所：ミュージア川崎 内容：情勢講演（講師—李俊—（イ・チュニル）総務部長）参加費：500円 主催：韓統連神奈川本部 連絡先：090-1049-4261（ムン）

#### 秋のフィールドワーク「松代大本営(長野)」(三重)

日時：10月21日（土）～22日（日） 集合時間・場所：午前8時30分 桑名駅 内容：松代大本営フィールドワーク 参加費：15,000円 主催：韓統連三重本部 連絡先：080-5112-6876（チョン）

### 11月

#### 第14回ハナ・マダンあまがさき(兵庫)

日時：11月5日（日）午前11時～午後4時 場所：尼崎中央公園 内容：ステージ（川口真由美withファンキーバンド、統一漫才カレコレ、子ども三味線、尼崎朝鮮初中級学校）、ワンコリアクイズ、統一ピビンバ試食、屋台、各団体のアピール 主催：ハナ・マダンあまがさき実行委員会 連絡先：090-1242-3981（イ）

#### 韓統連広島セミナー2023(広島)

日時：11月26日（日）15時15分開場、15時30分開始 場所：広島市まちづくり市民交流プラザ 内容：「尹錫悦政権と朝鮮半島情勢」（講師—金昌五（キム・チャンオ）韓統連大阪本部副代表委員）参加費：1000円 主催：韓統連広島本部 連絡先：090-3372-0993（ユン）

だんだん涼しくなってきました。韓国ではこの時期は秋夕（チュソク）と呼ばれる大型連休があり、ニュースも静かです。連休後は、いよいよ民衆総決起にむけて動きも活発になります。プラカード・アピールへのご協力、よろしくお願ひします（李）